

【調査目的】本調査は、中小企業退職金共済（以下、「中退共」という。）加入企業における加入経路及び加入状況の実態について把握するとともに、事務手続等に対する要望等を調査し、サービス向上及び今後の中退共のあり方を検討する基礎資料とする。

【調査対象】中退共に加入している共済契約者の中から6,000社を抽出

【調査方法】郵送配布、郵送回答ならびにWEB回答

【有効回答】3,208件（郵送回答：2,001件、WEB回答 1,207件） ※回収率：53.5%

【調査期間】令和4年（2022年）11月17日（木）～12月16日（金）



### 調査結果サマリー

中退共について	① 中退共加入の契機	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味を持ったきっかけ ▶P2へ 人からの紹介では「税理士・公認会計士等(22.7%)」、メディア媒体では「中退共のパフレット(8.1%)」が最も高い。</li> <li>○加入の決め手 ▶P2へ 「退職金が確実に支払われる(59.8%)」→「掛金を毎月払い込むだけで退職金制度を持てる(33.9%)」の順に高い。</li> </ul>	「確実な支払」と「軽い事務負担」が魅力です
	② 確実に退職金をお受け取りいただくために	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「加入通知書」の配布有無 ▶P3へ 「渡している」割合は69.1%で改善傾向。残りの30.0%は「紛失を防ぐため(56.2%)」を理由に渡していない。</li> <li>○「加入状況のお知らせ」の配布有無 ▶P3へ 「渡している」割合は64.4%で改善傾向。残りの32.7%は「会社で保管するものと思った(42.2%)」、「紛失を防ぐため(40.5%)」を理由に渡していない。</li> </ul>	加入通知書と加入状況のお知らせは従業員の皆様にお渡しください
	③ ホームページ・モバイルサイトについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページ(PC版)・モバイルサイトの利用実態 ▶P4へ 認知率は「ホームページ(PC版)」が73.4%。「モバイルサイト」が16.0%。</li> <li>○ホームページの説明の分かりやすさ ▶P4へ 77.1%が「わかりやすい」と回答。</li> <li>○ホームページの利用内容 ▶P4へ 「手続き方法(40.3%)」と「手続様式見本集のダウンロード(39.9%)」がよく利用されている。</li> </ul>	より使いやすいホームページとモバイルサイトを目指しています
	④ 加入企業のご意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>○手続きに関するご意見・ご要望 ▶P5へ 多いのは「退職手続き(45.1%)」、「掛金月額変更(37.0%)」。</li> <li>○その他制度へのご意見・ご要望 ▶P5へ 多いのは「役員加入の容認(21.3%)」、「安心安全な資産運用(12.3%)」、「懲戒解雇者への退職金支給取り止め(11.0%)」。</li> </ul>	安心して利用しやすい制度を目指します
	⑤ 退職金制度の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退職金制度の利用状況 ▶P6へ 中退共と他制度を併用している割合は26.6%で上昇傾向。導入目的は「従業員の生活の安定」「従業員の慰労」が50%超え。短時間労働者が加入している割合は11.4%。</li> </ul>	退職金制度は従業員の安心につながります
	⑥ 人材確保策としての退職金制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○退職金制度の導入効果 ▶P7へ 従業員の定着率やモチベーションが向上した割合は35.3%。求人時にアピールし、その効果があったとの回答が増加中。</li> </ul>	退職金制度は求人時のアピール材料になります
勤労者財産形成促進制度のご利用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○財形制度の導入有無 ▶P8へ 財形制度の導入率は13.1%。導入理由は「天引き方式により従業員の着実な財産形成が図れるから」が67.5%。</li> </ul>		

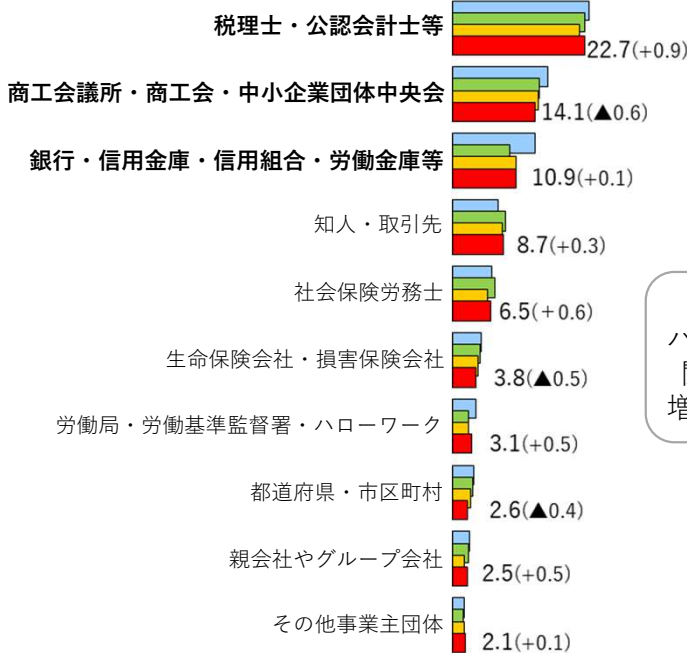
## 中退共に興味を持ったきっかけ

■：※3年前（2019年%） ■：※前々回（2020年%） ■：※前回（2021年%） ■：2022年%

### 専門家からの紹介・推奨が興味を持つ最大のきっかけ

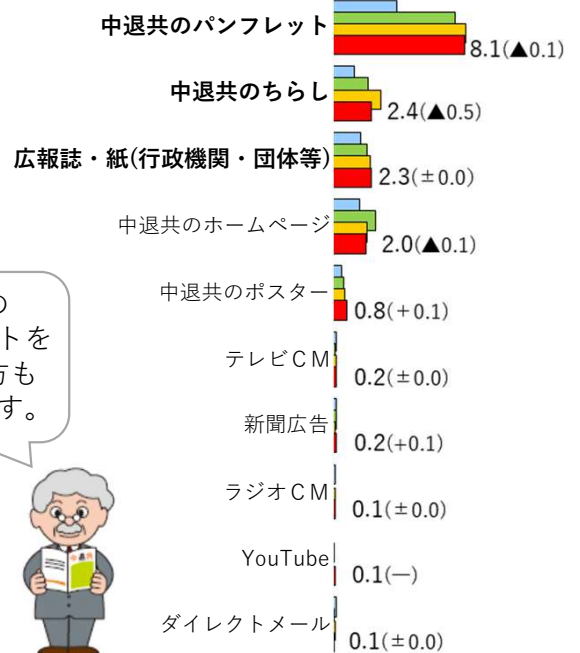
#### 中退共に興味を持ったきっかけ〈人からの紹介〉TOP10

(複数回答)



#### 中退共に興味を持ったきっかけ〈メディア媒体〉TOP10

(複数回答)



中退共のパンフレットを閲覧する方も増えています。



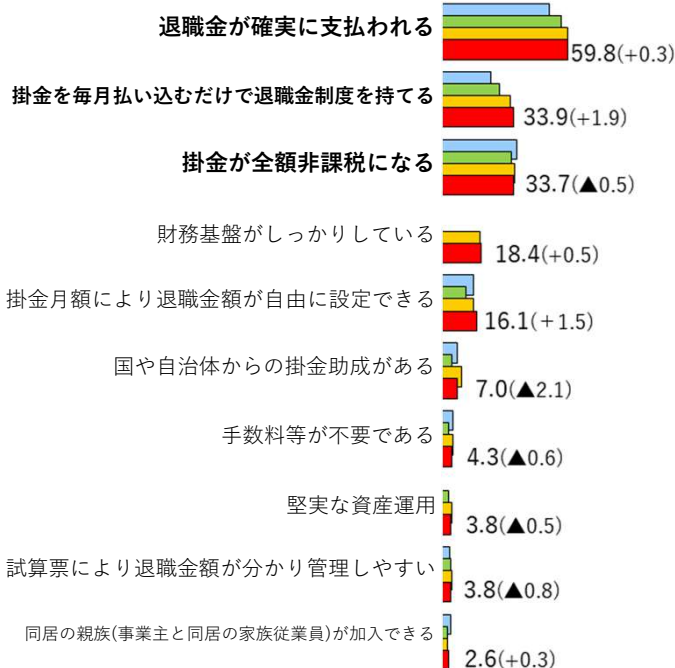
## 中退共加入の決め手

■：※3年前（2019年%） ■：※前々回（2020年%） ■：※前回（2021年%） ■：2022年%

### 中退共加入の決め手は、退職金が確実に支払われる安心感と、制度導入のお手軽さ

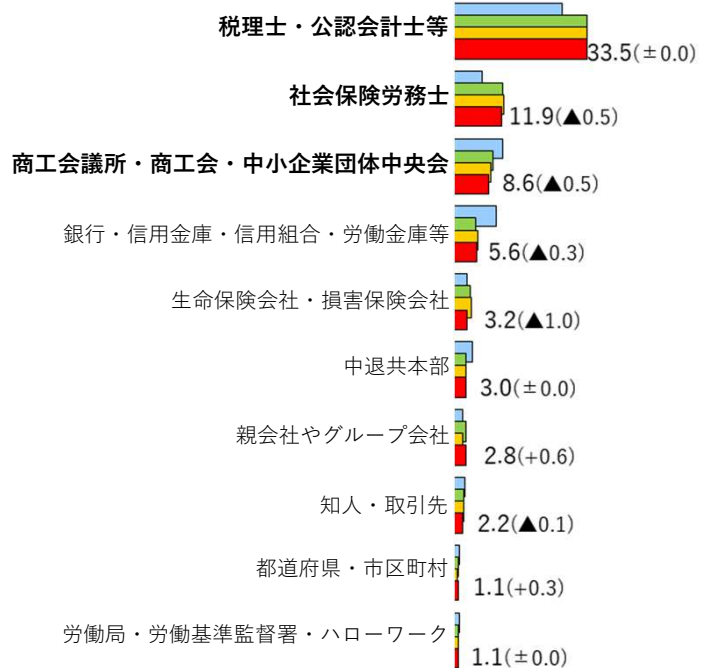
#### 中退共加入の決め手

(複数回答)



#### 退職金制度の設計検討時の相談先

(複数回答)



確実に退職金をお受け取りいただくために

ホームページ・モバイルサイトについて

加入企業のご意見

退職金制度の内容

人材確保策としての退職金制度

勤労者財産形成促進制度のご利用について



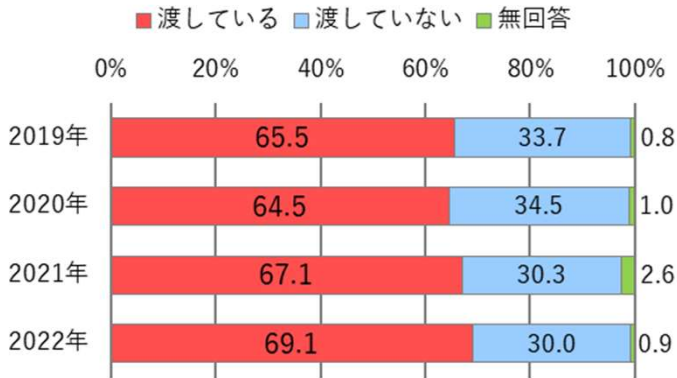
「加入通知書」の配布有無と理由

■ ※3年前 (2019年%) ■ ※前々回 (2020年%) ■ ※前回 (2021年%) ■ 2022年%

加入通知書を渡す契約者は増加傾向も、引き続き30%が「渡していない」  
「渡していない」理由は前回に続き「紛失を防ぐため」が最多

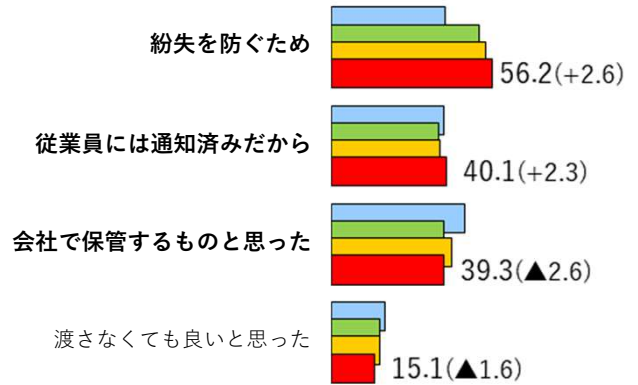
「加入通知書」の配布有無

(単一回答)



「加入通知書」を渡していない理由 TOP4

(複数回答)



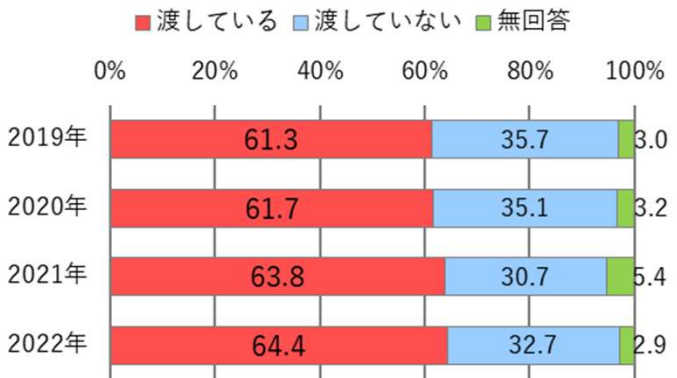
「加入状況のお知らせ」の配布有無と理由

■ ※3年前 (2019年%) ■ ※前々回 (2020年%) ■ ※前回 (2021年%) ■ 2022年%

加入状況のお知らせも渡す契約者が増加傾向も、引き続き30%強が「渡していない」  
「渡していない」理由は前回に続き「会社で保管するものと思った」が最多

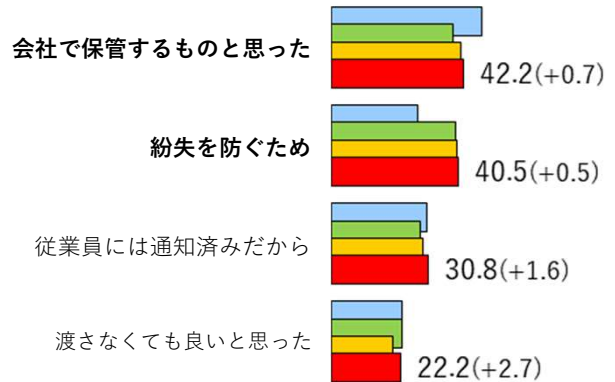
「加入状況のお知らせ」の配布有無

(単一回答)



「加入状況のお知らせ」を渡していない理由 TOP4

(複数回答)



「加入通知書」や「加入状況のお知らせ」はご本人へのお知らせで、  
保管するものではありません。

確実に退職金をお支払いするために

必ず従業員の皆さまにお渡してください！



確実に退職金をお受け取りいただくために

ホームページ・モバイルサイトについて

加入企業のご意見

退職金制度の内容

人材確保策としての退職金制度

勤労者財産形成促進制度のご利用について

## ホームページ・モバイルサイトの利用実態

ホームページは認知率こそ高いが、利用したことがある方は30%  
モバイルサイトは認知率が低く、利用したことがある方はごく僅か

### ホームページ（PC版）の利用経験

(単一回答)

- 利用したことがある
- あることは知っているが利用したことはない
- あることを知らなかった
- 無回答



### モバイルサイトの利用経験

(単一回答)

- 利用したことがある
- あることは知っているが利用したことはない
- あることを知らなかった
- 無回答



※認知率 = 「利用したことがある」 + 「あることは知っているが利用したことはない」

## ホームページの使いやすさ・利用内容

必要な情報の見つけやすさ、ホームページの説明のわかりやすさは、  
やや改善したものの、なお改善余地あり

### 必要な情報はすぐに見つかったか

(単一回答)

- すぐに見つかった
- 見つかった
- どちらとも言えない
- なかなか見つからなかった
- 見つからなかった
- 無回答

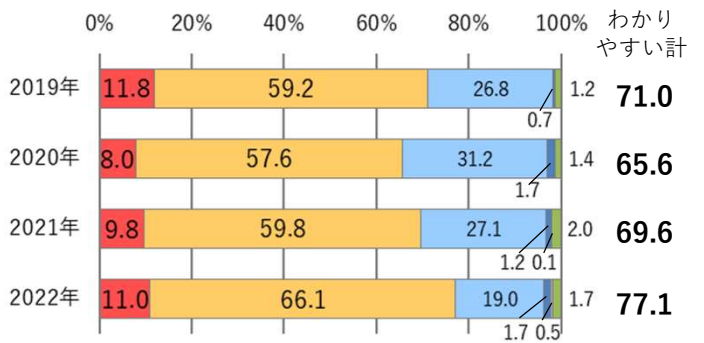


※対象：ホームページの利用経験あり

### ホームページの説明はわかりやすいか

(単一回答)

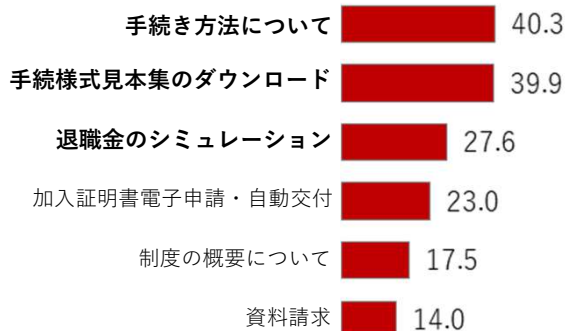
- とてもわかりやすい
- わかりやすい
- どちらともいえない
- わかりにくい
- とてもわかりにくい
- 無回答



※見つかった計 = 「すぐに見つかった」 + 「見つかった」  
※わかりやすい計 = 「とてもわかりやすい」 + 「わかりやすい」

### 利用内容 TOP6

(複数回答)



※対象：ホームページの利用経験あり

より使いやすい  
ホームページと  
モバイルサイトを  
目指しています。  
ぜひご利用ください！



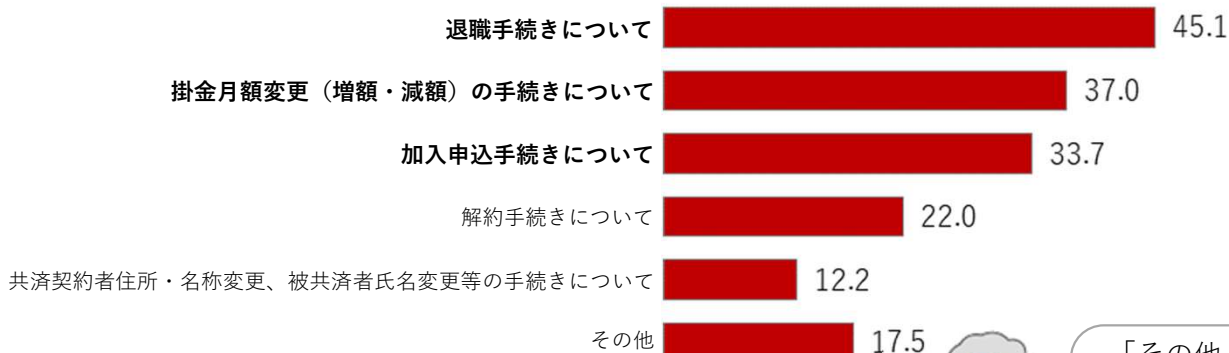
中退共の手続き方法に関するご意見

■ : 2022年%

多いのは「退職手続き」「掛金月額変更の手続き」「加入申込手続き」に関するご意見

中退共の手続き方法に関するご意見・ご要望

(複数回答)



「その他」では「WEBでの手続きを可能に」との要望が多く挙がりました

中退共制度へのご意見

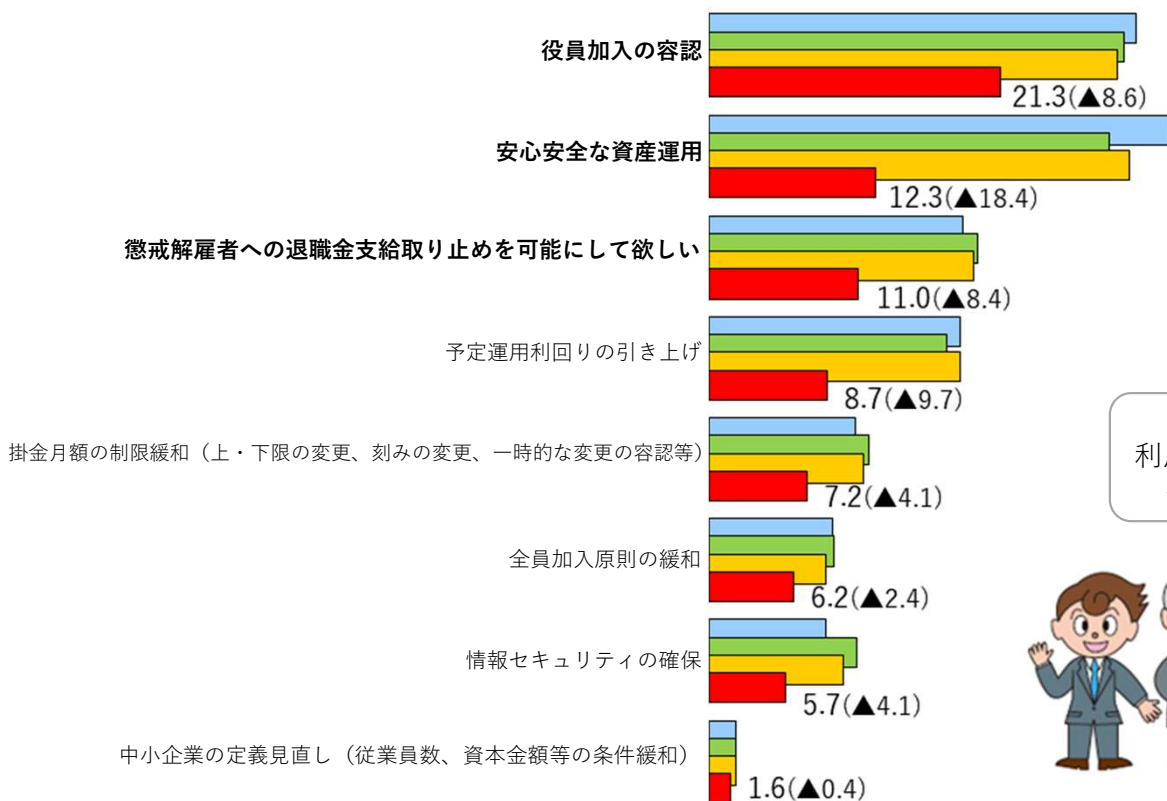
■ : ※3年前 (2019年%) ■ : ※前々回 (2020年%) ■ : ※前回 (2021年%) ■ : 2022年%

「役員加入の容認」が最多  
「安心安全な資産運用」に関する要望も多い

※2022年から設けた「特にない」の選択肢に回答が集まった結果、全体的に数値が低下

その他中退共制度へのご意見・ご要望

(複数回答)



安心して利用しやすい制度を目指します



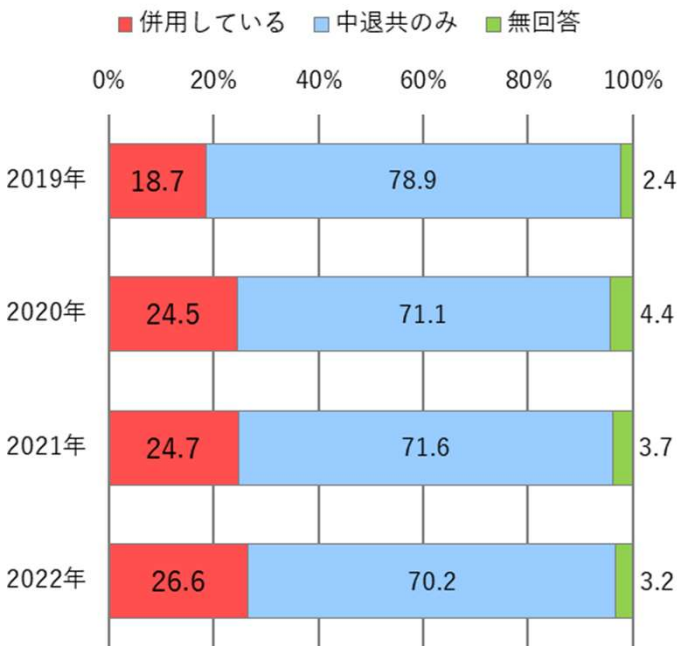
## 退職金制度の利用状況

■ : ※3年前 (2019年%) ■ : ※前々回 (2020年%) ■ : ※前回 (2021年%) ■ : 2022年%

**中退共と他制度を併用している契約者が増加傾向**  
併用理由は「中退共のみでは退職金の目標金額に到達しないから」が引き続き最多

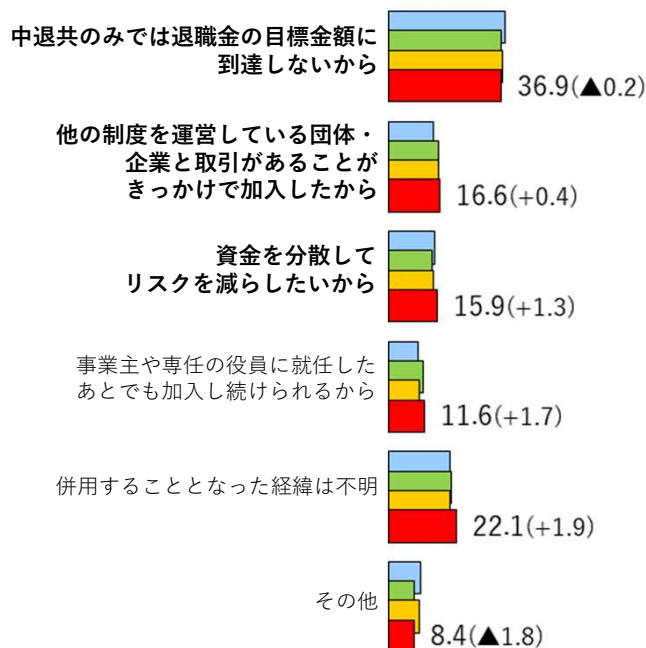
### 中退共と併用している制度の有無

(単一回答)



### 他の制度を併用している理由

(複数回答)

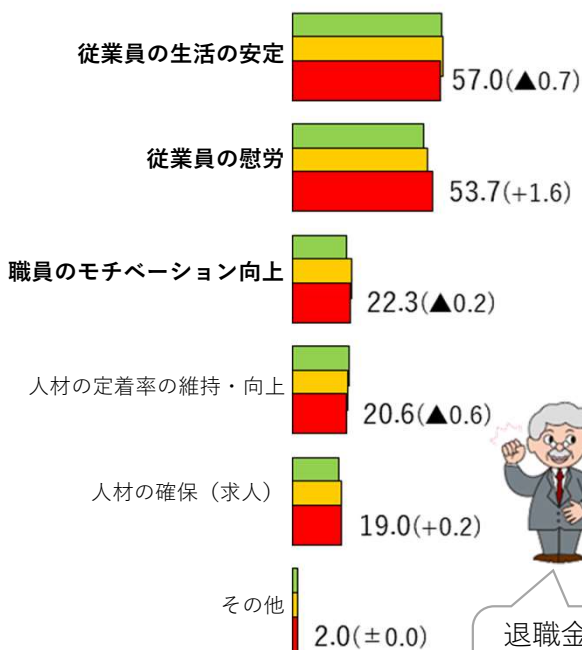


※対象：併用している契約者

**導入目的は「従業員の生活の安定」と「従業員の慰労」が多い**

### 退職金制度導入の目的

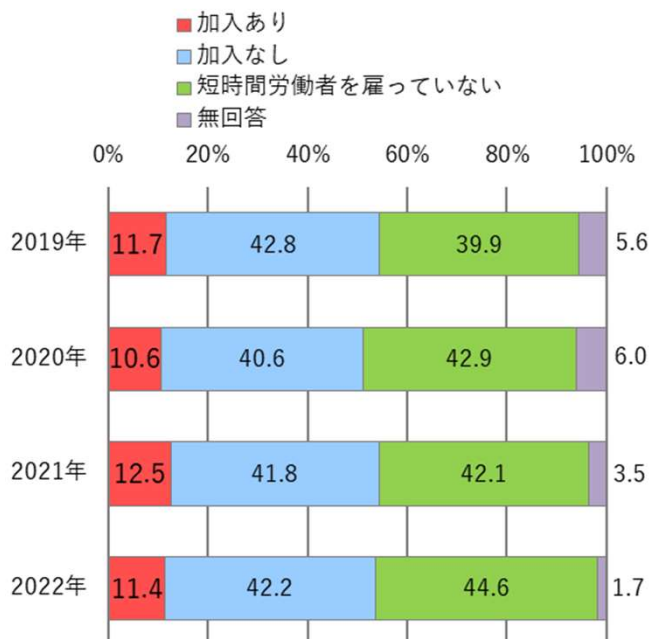
(複数回答)



**短時間労働者が加入している契約者は10%強**

### 短時間労働者の中退共加入有無

(単一回答)

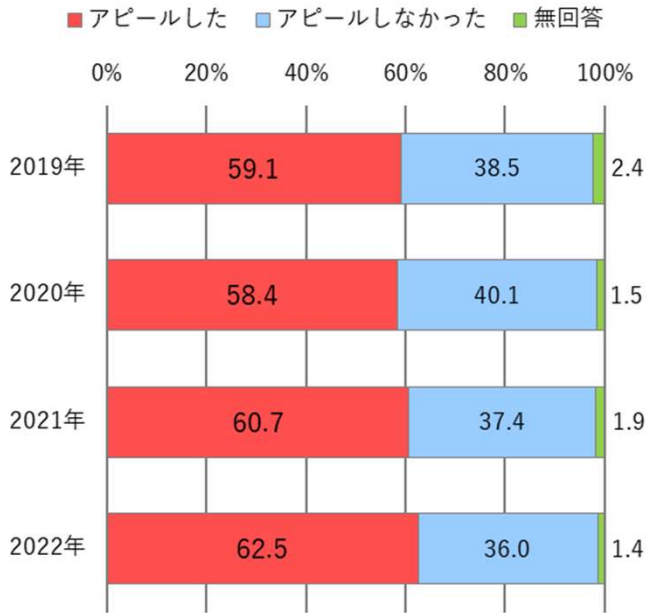


退職金制度の導入効果

求人時に退職金制度をアピールする契約者が増加傾向  
約35%が人材獲得面での効果を実感している

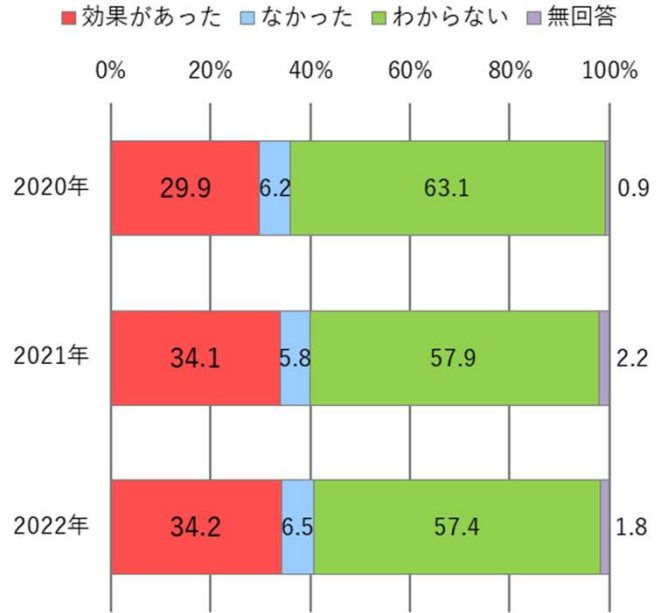
求人時のアピール有無

(単一回答)



求人時のアピール効果

(単一回答)

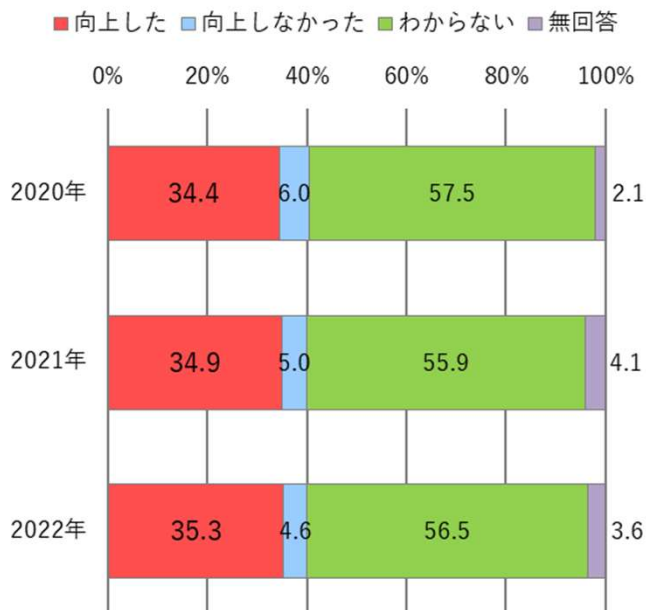


※対象：求人時にアピールした契約者

約35%が、退職金制度によって従業員の  
定着率やモチベーションの向上を実感

従業員の定着率やモチベーション向上の有無

(単一回答)



退職金制度は  
求人時のアピール材料や、  
従業員の定着率向上・  
モチベーションアップの  
対策になります



確実に退職金をお受け  
取りたいのために

ホームページ・  
モバイルサイトについて

加入企業のご意見

退職金制度の内容

人材確保策としての  
退職金制度

勤労者財産形成促進  
制度のご利用について

## 財形制度の導入有無

■ ※3年前 (2019年%) ■ ※前々回 (2020年%) ■ ※前回 (2021年%) ■ 2022年%

### 導入率は13%

導入理由は「天引き方式により従業員の着実な財産形成が図れるから」が引き続き最多導入していない理由には「財産形成は従業員個人の問題と考えるから」「財形制度を知らないから」「従業員の希望がないから」が並ぶ

### 財形制度の導入有無

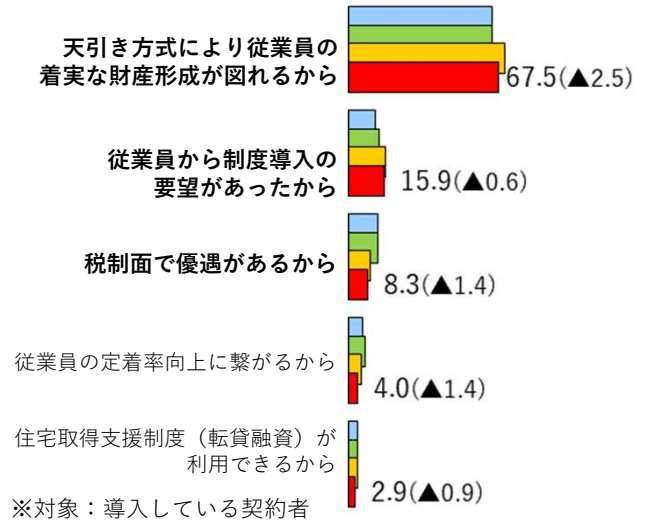
(単一回答)

■ 導入している ■ 導入していない ■ 無回答



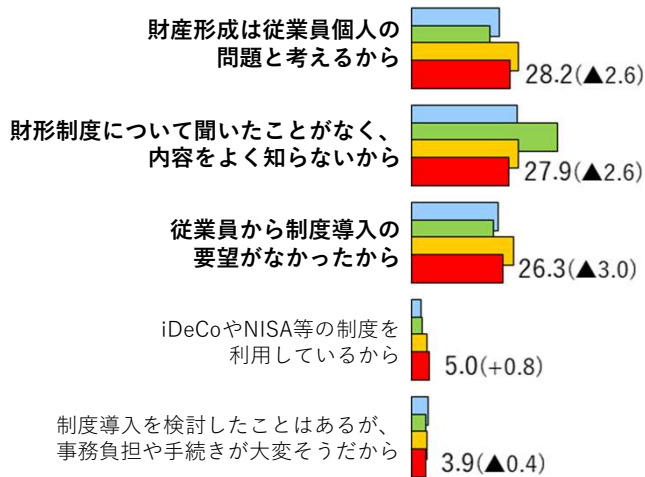
### 導入している理由 TOP5

(複数回答)



### 導入していない理由 TOP5

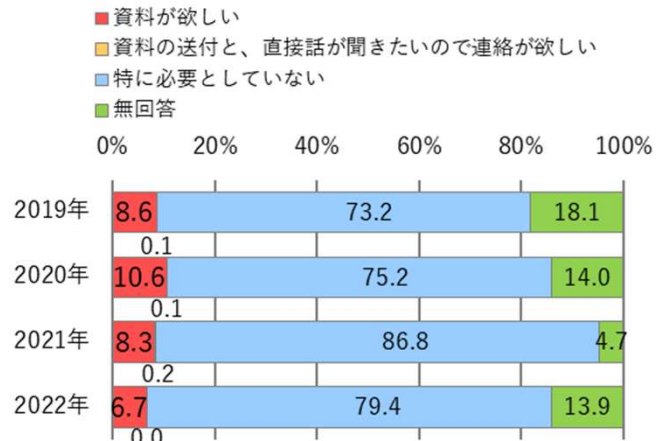
(複数回答)



※対象：導入していない契約者

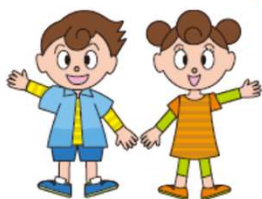
### 財形制度の情報が欲しいか

(単一回答)



従業員の着実な財産形成、人材確保やモチベーション向上につながるため、ぜひ一度、資料をご覧ください

## 独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部



中退共 検索

この概要版は、中退共のホームページに掲載しています

<https://www.chutai-kyo.taisyokukin.go.jp/>

[トップページ] > [情報公開] > [統計資料] > [加入企業の実態に関する調査結果の概要]

